

1 手話通訳者・意思疎通支援事業

(1) 取組状況

① 手話奉仕員講座（平成 29 年度から定員を 10 人増）

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
時間帯	午前	夜間	午前	夜間	午前	夜間	午前
定員	20 人	20 人	30 人	30 人	30 人	30 人	20 人
受講者	25 人	37 人	11 人	30 人	26 人	26 人	24 人
修了者	23 人	20 人	7 人	21 人	18 人	17 人	21 人

② 手話通訳Ⅰ講座（平成 29 年度から毎年度実施）

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
時間帯	午前		夜間	午前	夜間	午前	夜間
定員	20 人		20 人	20 人	20 人	20 人	20 人
受講者	15 人		21 人	11 人	20 人	13 人	9 人
修了者	14 人		16 人	10 人	13 人	10 人	9 人

③ 手話通訳Ⅱ講座（平成 29 年度から毎年度実施）

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
時間帯		午前	午前	夜間	午前	夜間	午前
定員		20 人	20 人	20 人	20 人	20 人	20 人
受講者		30 人	9 人	12 人	7 人	9 人	9 人
修了者		26 人	8 人	12 人	7 人	8 人	9 人

④ 手話通訳Ⅲ講座（平成 30 年度から実施）

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
時間帯				午前午後	夜間	夜間	夜間
定員				20 人	20 人	20 人	20 人
受講者				10 人	9 人	6 人	9 人
修了者				10 人	8 人	6 人	2 人

⑤ 要約筆記者講座

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
講座名	前期	後期	前期	後期	前期	後期	手書き
時間帯	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後
定員	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
受講者	7 人	3 人	10 人	6 人	7 人	4 人	3 人
修了者	6 人	3 人	7 人	6 人	7 人	4 人	2 人

※ 令和 3 年度から西宮市と手書き・PC をそれぞれ 1 つ開講し、相互受入れとした

⑥ 手話通訳者派遣

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
支援登録者数	28 人	28 人	27 人	28 人	30 人	32 人	26 人
利用登録者数	160 人	163 人	160 人	164 人	170 人	168 人	172 人
総派遣時間	1,713H	1,936H	1,757H	1,787H	1,769H	1,464H	1,736H
実利用者数	68 人	75 人	69 人	88 人	81 人	77 人	88 人
総派遣回数	934 回	1,041 回	1,077 回	1,038 回	958 回	912 回	1,104 回
内訳：公的機関	247 回	261 回	134 回	126 回	115 回	88 回	69 回
医療機関	580 回	651 回	737 回	719 回	637 回	672 回	888 回
その他	107 回	129 回	206 回	193 回	206 回	152 回	147 回

⑦ 要約筆記者派遣

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
支援登録者数	13 人	16 人	14 人	15 人	15 人	17 人	14 人
利用登録者数	36 人	39 人	40 人	40 人	45 人	44 人	49 人
総派遣時間	475H	440H	492H	331H	285H	107H	315H
実利用者数	10 人	12 人	10 人	10 人	10 人	9 人	10 人
総派遣回数	229 回	221 回	242 回	169 回	127 回	58 回	139 回
内訳：公的機関	110 回	84 回	29 回	22 回	20 回	3 回	13 回
医療機関	119 回	122 回	146 回	126 回	86 回	45 回	91 回
その他	0 回	15 回	67 回	21 回	21 回	10 回	35 回

⑧ 盲ろう者向け通訳・介助員派遣

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
支援登録者	7 人	6 人	6 人	7 人	7 人	10 人	10 人
利用登録者	2 人	2 人	2 人	2 人	1 人	1 人	1 人
総派遣時間	33H	98H	27H	0H	0H	0H	0H
総派遣回数	25 回	89 回	27 回	0 回	0 回	0 回	0 回

⑨ 聴覚障害者コミュニケーション支援センターの体制整備（平成30年7月に移転）

- ・ 市役所本庁舎中館 1 階に移転
- ・ コーディネーター増員（1 人⇒2 人：平成 30 年 9 月より常勤職員の配置）
- ・ 相談業務の運用開始（窓口相談、意思疎通支援事業処遇困難ケースへの対応等）

年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
対応件数	562 件	514 件	426 件	560 件

※ 平成30年度：平成 30 年 7 月～平成31年 3 月の実績値

※ 手話通訳者・要約筆記者への対応含む

⑩ 意思疎通支援者の配置促進（平成 30 年度から実施）

- ・ 聴覚障害者への情報保障を確保するため、予算を確保できなかった市主催の講演会等において手話通訳者や要約筆記者を配置することができるよう、障害福祉課において予算を計上。
- ・ 時限的に障害福祉課で実施してきた上記の取り組みについて、毎年度開催する障害者差別解消法に関する職員研修等により、合理的配慮に関する周知が一定図られてきたことから、今後は各担当所属での責務・対応とし、令和 3 年度で当該取り組みを終了。

年度	担当課	内容
令和 2 年度	歴史博物館	○ 「尼崎郷土史研究会 令和 2 年度第 2 回講演会」 ・ 実施日 令和 2 年 12 月 24 日 ・ 派遣内容 手話通訳者 2 人
	市立尼崎高等学校	○ 合格者説明会 ・ 実施日 令和 3 年 3 月 23 日 ・ 派遣内容 手話通訳者 2 人
令和 3 年度	市立尼崎高等学校	○ 入学式 ・ 実施日 令和 3 年 4 月 8 日 ・ 派遣内容 手話通訳者 2 人

⑪ 市役所窓口の充実

- ・ 非常勤行政事務員の増員（平成30年 1 月の南北保健福祉センター開設）
非常勤行政事務員（設置通訳者）の配置定数を 2 人から 4 人に増員したが、現在 2 人の配置（2 人欠員）
- ・ 障害福祉窓口等へのビデオ通話システムの導入（平成30年 3 月稼働）
本庁障害福祉課、南北保健福祉センター障害者支援課、各地区保健・福祉申請受付窓口 Zoom（令和元年 10 月まではスカイプ）を導入したパソコン等を設置し、各窓口到手話通訳者が不在時にも、本庁常駐の手話通訳者が対応。
- ・ 利用者実績（設置通訳者対応件数）

	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
本庁窓口	766 件	598 件	483 件	797 件	849 件
北部保健福祉センター窓口	12 件	126 件	36 件	11 件	9 件
南部保健福祉センター窓口	9 件	20 件	3 件	5 件	12 件
各支所窓口	0 件	0 件	0 件	2 件	0 件
窓口支援数合計	787 件	744 件	522 件	815 件	870 件
（内、ビデオ通話対応）	3 件	10 件	15 件	3 件	2 件

2 手話言語普及啓発事業（平成 30 年度から実施）

(1) 事業内容

尼崎市手話言語条例に基づき、手話及びろう者に対する理解並びに手話の普及を促進するため、市民等を対象にした体験講座を開催する。

(2) 取組状況

① 手話講座

講座	内容	場所・日時	定員	参加者	(参考) R2 年度
子ども 手話 講座 ※1	小学生（ろう児・難聴児の限定なし）を対象に、「聴覚障害の障害特性の説明」、「身振り表現」、「手話体験」等	令和 3 年 11 月 7 日 中央北生涯学習フﾟﾗｼﾞ 小田南生涯学習フﾟﾗｼﾞ 武庫東生涯学習フﾟﾗｼﾞ	30 人 30 人 30 人	14 人 24 人 24 人	3 組 (7 人) 中 央 北 の み の 開 催
事業者 向け 手話講 座	事業者を対象に、「聴覚障害の障害特性の説明」、「手話体験（自己紹介・挨拶等）」等	出前講座形式で企画したが、申込無し	50 人	—	2 社 (2 人)
はじめ ての 手話講 座	初めて手話を学ぶ市民を対象に「聴覚障害の障害特性の説明」、「聴覚障害者の日常生活の説明（DVD上映）」「手話体験」 「聴覚障害者との交流」等	中央北生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 24 日 小田北生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 26 日 大庄北生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 19 日 立花北生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 24 日 武庫東生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 21 日 園田西生涯学習フﾟﾗｼﾞ 令和 4 年 1 月 19 日	30 人 30 人 30 人 30 人 30 人 30 人	4 人 7 人 3 人 5 人 10 人 6 人 計 35 人	7 人 2 人 5 人 1 人 8 人 1 人 計 24 人
聴覚障 害児・ 保護者 向け 手話講 座 ※2	ろう児・難聴時・保護者を対象に、「子どもの発達に合わせたコミュニケーション」 「成人ろう者の体験話」等	開催見送り	10 組	—	—

※1 令和 3 年度は「親子手話講座」を保護者の同伴を求めず、小学生を対象とした「子ども手話講座」として実施

※2 「聴覚障害児・保護者向け手話講座」は冬頃に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況から受講者が見込めないとして、開催を見送った。

② 条例啓発用冊子

冊子	部数	設置場所・検討状況等	配付
条例啓発リーフレット	平成29年度 2,000 部	本庁（障害福祉課・聴覚障害者コミュニケーション支援センター） 南・北障害者支援課 各生涯学習プラザ等 ※本庁以外は、残部なくなり次第終了	手話通訳養成講座
条例啓発パンフレット	平成30年度 20,000 部	他市（石狩市等）のパンフレットを参考にして、手話言語普及啓発事業の委託先である尼崎市聴力障害者福祉協会から文章・イラスト等の提供を受け、平成31年3月に作成 ※本庁、南・北障害者支援課で配布中 各生涯学習プラザでも配布予定	手話通訳者養成講座、啓発講座 庁内研修（希望者向け） ミーツザ福祉等
手話ハンドブック	平成30年度 9,000 部	啓発講座で利用した資料を参考にして、手話言語普及啓発事業の委託先である尼崎市聴力障害者福祉協会から文章・イラスト等の提供を受け、平成31年3月に作成 ※今後の活用方法については、同協会と協議中（出前講座・職員研修など）	手話講座 等

③ 尼崎市手話言語条例施策推進協議会（平成31年3月に設置）

- ・ 尼崎市障害福祉計画の「評価・管理シート」の取組（PDCAサイクル）を通じて、「手話及びろう者に対する理解が深められ、並びに手話を普及させるための施策」、「手話による意思疎通及び情報の取得の機会を拡大するための施策」、「手話通訳者の確保及び養成のための施策」等の検討を実施
- ・ 委員は学識経験者3人・ろう者2人・手話通訳者1人・市民の代表1人の計7人で構成
 - ・ 平成31年3月27日（木）第1回協議会（身体障害者福祉センター「研修室」）
 - ・ 平成31年4月23日（火）第1回協議会（市役所議会棟「西会議室」）
 - ・ 令和元年5月30日（木）第2回協議会（市役所議会棟「西会議室」）
 - ・ 令和2年8月18日（火）第1回協議会（中央北生涯学習プラザ）
 - ・ 令和3年1月25日（月）第2回協議会（中央北生涯学習プラザ）
 - ・ 令和3年12月22日（水）第1回協議会（市役所本庁「南B1-3会議室」）

3 その他の事業等

① 職員研修の実施

- ・ 新採者向け研修（尼崎市教育・障害者福祉センター「視聴覚室」）
令和3年4月13日（火） 参加者：48名
令和4年4月11日（月） 参加者：91名
- ・ 新任役職者研修（尼崎市教育・障害者福祉センター「視聴覚室」）
令和3年6月1日（火） 参加者 68名
令和4年5月25日（水） 参加者 58名

- 職員向け手話講座（市政情報センター「セミナールーム」）

令和2年10月7日（水） 参加者：19名

令和3年10月11日（月） 参加者：12名

② 尼崎市障害者差別解消支援地域協議会

- 令和元年6月20日（木）第1回協議会（中央北生涯学習プラザ「学習室1」）
- 令和元年7月25日（木）第1回パンフレット策定部会（中央北生涯学習プラザ「学習室3」）
- 令和2年2月25日（火）第2回協議会（立花南生涯学習プラザ「小会議室」）
- 令和3年10月22日（金）第1回協議会（本庁B1-3会議室）
- 令和4年3月30日（水）第2回協議会（本庁B1-3会議室）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送った。

③ 尼崎市立身体障害者福祉センター講座

講座	内容	場所・日時	定員	参加者数
聞こえない・聞こえにくい方（中途失聴）のための手話講座（入門編・初級編）	中途失聴者で初めて手話を学ぶ方を対象に日常でよく使う手話をゆっくりとしたペースで説明	尼崎市立身体障害者福祉センター		
		令和3年7月3日	10人	7人
		令和3年7月10日	10人	8人
		令和3年7月17日	10人	8人
		令和4年1月22日	10人	7人
		令和4年1月29日	10人	8人
		令和4年2月5日	10人	7人

※令和元年度まで全5回であったものを令和2年度から全6回に増やした

④ 地域総合センター啓発事業

- 夏休み子ども手話教室（上ノ島総合センター）

令和元年7月22日～8月7日（全5日間） 延べ98人参加

令和3年7月21日～7月29日（全4日間） 延べ55人参加

※上ノ島総合センター建て替えのため、上ノ島第2団地集会所で開催

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

⑤ ふれあい学級

- やまびこ学級（大庄南生涯学習プラザ） 令和元年12月15日（日）

聴覚・言語に障害を持つ人と健常者の交流 聴覚障害者18名参加

令和2年度は申し込みが1名のため中止

令和3年度は大庄北生涯学習プラザで令和4年2月27日（日）に実施

⑥ 兵庫県手話通訳者（全国統一）試験 実施状況

年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
申込者数	7 人	7 人	8 人	6 人	10 人	8 人	7 人
欠席者数	2 人	1 人	2 人	0 人	1 人	1 人	0 人
受験者数	5 人	6 人	6 人	6 人	9 人	7 人	7 人
合格者数	1 人	0 人	1 人	3 人	0 人	0 人	1 人
合格率	20.0%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%
現登録者数	8 人	8 人	9 人	12 人	12 人	15 人	15 人

⑦ 人権啓発資料の発行（教育委員会事務局社会教育課）

- ・ 令和 3 年度のテーマ

きこえないってどんなこと ～聞こえない普通、聞こえる普通、「普通」ってみんな同じ？～

- ・ 著 者

関西学院大学人間福祉学部 教授 松岡 克尚 氏

- ・ 主な配布先（2 月上旬配付）

市内保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・専門学校などを通じて各家庭へ配付したほか、各生涯学習プラザ・老人センターなどにも配架。

※ 人権啓発資料は、市民に人権について身近に感じていただくために、家庭や地域・職場などの話し合いや人権学習の資料として作成している。

以 上